

目標達成計画

作成日: 平成 26年 4 月 11日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33 (12)	体調変化時に家族に連絡し、意向や希望を聞き取り、現状に即した支援を心がけている。今まで、1件の看取り経験があるが、重度化・終末期の指針文書は作成していない。	事業所の力量を把握した指針を文書化して、利用者・家族に説明と同意を得ると共に、医療機関との、連携構築と職員の自己研鑽を図り、チームでの取り組みを期待する。	「グループホームとして」出来る事、できない事を明確にし、費用等も詳細に、明記した指針文書に改正致しました。順次、利用者様・ご家族様へのご説明とご同意を頂戴している途中です。 今後も、できる限り、利用者様のご希望やご意向に添えるよう、より一層、連携を密にしていける体制作りを勧めていきます。	3ヶ月
2	35 (13)	消防署立会の下での訓練と事業所の自主訓練を年2回実施している。 地域の協力体制のきずなネットマップの作成や、協力の呼びかけは検討中で、備蓄は水だけであり、内容に課題がある。	あらゆる場面(特に夜間)を考慮した避難計画を管理者・職員で検討した避難計画を作成し、それに沿った訓練を積み重ね、全員の意識徹底と非難経路や方法の確立を期待したい。	備蓄に関しては、水を強化し、食糧に関しても、缶詰、レトルト等、様々な状況を想定して揃えている途中です。また、懐中電灯等の備品も揃えていく予定で動いています。 地域の協力体制については、研修や集会にも参加し、無線の使い方等、地域の方々と協力し合える体制作りを進めています。 避難訓練については、年2回の避難訓練時、できるだけ多くのスタッフが参加しやすいよう配慮した日程・時間で設定すると共に、「今、災害が起こったらどう動いたら良いか」「どこへ連絡すべきか」を意識して考える習慣をつけ、いざという時に、慌てず、落ち着いて行動できるよう意識作りを心がけたいと思います。	3ヶ月
3					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。